

## 会議録

審議会等名	令和4年度第1回三条市男女共同参画審議会		
公開の別	全部公開		
開催日時	令和4年7月22日(金) 午後2時～4時		
開催場所	旧青少年育成センター2階会議室	傍聴者の有無	無
出席者氏名	委員：杉原委員(会長)、佐藤春男委員(会長代理)、関根委員、馬場委員、 西山委員、宮島委員 事務局：小島課長、新田課長補佐、高野係長、宮嶋主事		
議 題	1 会長の選任について 2 会長代理の選任について 3 令和4年度三条市男女共同参画推進プラン実施計画について 4 (仮称)第3次男女共同参画推進プランの策定について 5 新プラン策定のための市民意識調査の内容について		
発言内容等	会議要旨  議題についての質疑、意見交換は、次ページのとおり		

議題1 会長の選任について	
新田課長補佐	三条市男女共同参画審議会規則の第2条第1項に基づき、会長を皆様方からの互選で選出をお願いします。
馬場委員	杉原委員にお願いしたい。
新田課長補佐	杉原委員を推薦する声があるため、会長をお願いしてよろしいか。
全委員	(賛同)
新田課長補佐	杉原委員を会長とすることに決定した。
議題2 会長代理の選任について	
杉原会長	審議会規則の第2条第3項に、会長代理は会長からの指名にするとあるため、私の方から指名させていただく。会長代理には、前期も会長代理をお願いしていた佐藤春男さんに、引き続き、会長代理をお願いしたいと思うが、よろしいか。
全委員	(賛同)
杉原会長	佐藤委員を会長代理とすることに決定した。
議題3 令和4年度三条市男女共同参画推進プラン実施計画について	
事務局	(資料に基づき実の内容を説明)
宮島委員	栄公民館の男の料理教室は令和4年度から廃止となっているが、理由としては単純に参加人数が少ないからなのか、あるいは他の理由があるのか。
事務局	栄公民館では令和3年度まで男の料理教室に限らず、「フレッシュ料理教室」等、様々なテーマで開催をしてきたが、そもそも参加者が少ないこと及びメンバーが固定されている状況を踏まえ、料理教室を一本化した。その中で毎回料理の内容を変えて実施すると聞いている。
宮島委員	一つの事業で複数の課が協力した方が良いと思われる場合、横の連携についてはどのように考えているのか。
事務局	例えば、女性のための活躍に係るセミナーについては、男女共同参画の視点でいえば地域経営課、女性の雇用促進や職場復帰支援等の観点からは商工課が担当している。セミナー等を共同で開催することはあるものの、その他に共同で事業を実施すべきかどうかについては検討していく。

杉原会長	No.23 の多様な保育ニーズへの対応について、予算額が 3,181,411 千円となっており、規模が大きいように思えるが、これは正しいのか。
事務局	公立保育所、私立保育園あるいは幼稚園を含めると全体額で約 30 億円の予算規模になるが、多様な保育ニーズへの対応という観点で計画を立てることを前提としているため、次年度以降は更にフォーカスした視点で、もう少し詳細な計画・金額を案として提示したいと考えている。
佐藤委員	No.53 の男性職員の育児休業及び介護休暇取得の推進について、育児・介護休業法の改正が今年の 10 月から施行となり、出生後 8 週間以内に 4 週間までの休暇を取得できる出生時育児休業や育児休業の分割取得が可能となる。 事業所としても対象をしっかりと把握し、取得促進に努める必要があるが、上記の観点を実施計画に盛り込むことはできないのか。
事務局	いわゆる出生時育児休業や育児休業の分割取得については、現時点で人事課も対応を検討中であるため、その対応に応じて進捗状況の報告や次年度の実施計画の設定の際に報告する形としたい。
議題 4 (仮称) 第 3 次男女共同参画推進プランの策定について	
事務局	(資料に基づき実施計画の内容を説明)
杉原会長	これは条例と絡めて設定をしたものなのか。
事務局	そのとおりである。基本的には国際的協調を除けば、条例にある理念に基づいている。
杉原会長	一読して、身体の健康に係る課題がないように思える。例えば妊娠や出産に係る母子の健康等、女性と男性で身体の特徴や機能は異なる。例えば、乳がんであれば年齢にして 30 歳台で罹患する可能性が高い。30 歳台であれば、現役で働いている年齢であるため、それに対する警戒も大きくない。早期発見・早期治療等の対策など、身体の健康に対する啓発や意識の醸成も男女参画を実現するための一つの手段として重要ではないか。 また、女性は男性に比べ筋力が劣っている。その分女性は肉体的負担が大きくなる。加えて、全国的に女性は男性に比べ、運動の習慣が少なく、自分の身体のケアに時間をかけることが少ない。家事など、いわゆる他人の世話で忙しいためではないか。 平均寿命は男性よりも女性の方が長い一方で、健康寿命については男女で大きな差はない。つまり、女性は健康ではない時間を長く生きていることになる状況である。 三条市では男女共同参画講座の中でヨガを取り入れているが、ますます高

	<p>齢化が進む中、それだけでなく、女性が体を動かしたり、疾病を予防する習慣を付けたりするなど、生涯にわたる健康管理の取組みを新プランに取り入れていくべきではないか。</p>
事務局	<p>健康については課題（案）の「生活環境の充実」の中に組み込むなどして新プランに掲載していく方向で検討したい。</p> <p>また、健康づくり課の健康増進計画のデータを引用し、それに対する施策を男女共同参画の進展から打ち立てるなどの方法についても検討したい。</p>
佐藤会長代理	<p>基本課題（案）「みんなで働き方を考えよう」の中に「生活環境の充実」を掲げているが、不自然である。例えば、基本課題（案）「それぞれの生き方を目指そう」に組み込むなどが自然なのではないか。</p>
事務局	<p>その方向で検討し、基本課題を含めて再構築するよう考える。</p>
関根委員	<p>私は税理士という職業柄、相続税の相談の中で高齢者の孤独を多く目の当たりにする。</p> <p>身体は健康ではあり、何か活動をしたいという意欲はあるが、どのようにしたら良いか分からないなどの声も聞くことがある。少子高齢化の時代において、女性だけでなく、高齢者の方たちの男女共同参画も考えなければならないと考える。</p>
事務局	<p>基本課題（案）の「それぞれの生き方を目指そう」の中にどのような世代であってもそれぞれがつつがなく、また輝いて生きていくための理念や施策を盛り込むようにしたい。</p>
宮島委員	<p>基本課題（案）「男女共同参画を次の世代につなげよう」のうち「女性の視点を生かした防災」について、男女共同参画の捉え方・意識の向上などを掲げる中に組み込むのは突飛な印象を受ける。</p>
事務局	<p>東日本大震災の際、例えば避難所で男女が平等に避難生活を送るべきであったところ、そうではない場面があったことから、国の方で防災に女性の視点を取り入れることを各自治体へ促す動きがあったものである。</p>
杉原委員	<p>防災に関する会議体はほとんどが男性で構成されていることがいまだに多いが、東日本大震災を期に国が注意喚起をし始めた。</p>
馬場委員	<p>数年前に公民館等で開催した「ひとひとフォーラム」において、女性のための防災をテーマにしたことがあった。例えば、乳児がいる場合の対応や実際に防災食を温めて食べるなどをした記憶がある。そのような機会をより多く市</p>

杉原会長	民の方に提供すべきと考える。
西山委員	現行プランに係る指標値であるが、新プランに反映させたいものについては、調査等で抽出をすべきである。個人的には女性の心身の健康について指標があると良いと考える。高齢者については、NPO等の団体活動など、何らかの社会活動に参加している人の割合も必要かと思う。他に何か意見はあるか。
事務局	指標の中で「社会の慣習（しきたり）について」平等になっていると思う人の割合について、指標設定の理由はどのようなものか。
宮島委員	例えば身近なところでいうと、町内会の祭りを開催するにしても「男性は重い荷物を運ぶべき」や「女性は炊き出しや掃除をすべき」など固定的役割の認識があることもある。職場や家庭内に限定せず、そのような慣習がどのように社会活動に現れているかを図るものである。
杉原会長	例えば身近なところでいうと、町内会の祭りを開催するにしても「男性は重い荷物を運ぶべき」や「女性は炊き出しや掃除をすべき」など固定的役割の認識があることもある。職場や家庭内に限定せず、そのような慣習がどのように社会活動に現れているかを図るものである。
事務局	例えば身近なところでいうと、町内会の祭りを開催するにしても「男性は重い荷物を運ぶべき」や「女性は炊き出しや掃除をすべき」など固定的役割の認識があることもある。職場や家庭内に限定せず、そのような慣習がどのように社会活動に現れているかを図るものである。
杉原会長	例えば身近なところでいうと、町内会の祭りを開催するにしても「男性は重い荷物を運ぶべき」や「女性は炊き出しや掃除をすべき」など固定的役割の認識があることもある。職場や家庭内に限定せず、そのような慣習がどのように社会活動に現れているかを図るものである。
事務局	例えば身近なところでいうと、町内会の祭りを開催するにしても「男性は重い荷物を運ぶべき」や「女性は炊き出しや掃除をすべき」など固定的役割の認識があることもある。職場や家庭内に限定せず、そのような慣習がどのように社会活動に現れているかを図るものである。
杉原会長	例えば身近なところでいうと、町内会の祭りを開催するにしても「男性は重い荷物を運ぶべき」や「女性は炊き出しや掃除をすべき」など固定的役割の認識があることもある。職場や家庭内に限定せず、そのような慣習がどのように社会活動に現れているかを図るものである。
議題5 新プラン策定のための市民意識調査の内容について	
事務局	(資料に基づき実施計画の内容を説明)
関根委員	「自営業」と「家族従事者」を分け、更にそれらを職種（農業、商業、工業）ごとに分けているが、三条市には小規模事業の個人事業主も多く、自営業の中身は多様である。「自営業」という項目で何を吸い上げたいのか、考えを整理して選択肢を作った方が良い。
佐藤会長代理	前回との比較があるので、設問の対象を変えることが難しいのは理解するが、時代に応じて変える部分があっても良いのではないか。
事務局	そもそもどのようにデータを抽出したいのか整理をして選択肢を再構築する。

佐藤会長代理	2,000 人を無作為抽出で対象としているようだが、回収率はどのようになっているのか。
事務局	前回であれば 60%程度である。
佐藤会長代理	集計は外部委託しているのか。
事務局	お見込みのとおりである。
関根委員	男女共同参画について、せつかく時間も労力もお金も費やしているのだから、外部へ三条市の取り組みをPRした方が良い。ホームページに掲載してもアクセスする人は限られているため、情報発信について他の方法も検討した方が良い。
事務局	ホームページに掲載はしているが、今後のために検討していく。
西山委員	人権の設問について、皆が軽視をしているように見受けられる。人権の設問については削除しないようお願いする。
事務局	ナイーブな問題なので、基本的には削除しない方向で考えたい。必要があれば加筆することも検討する。
杉原会長	セクハラやパワハラについての設問はないのか。
事務局	それに特化した設問はいないが、暴力という視点でパワハラ等について尋ねている。
宮島委員	問7の選択肢「女性は働く必要はない」について、極端な選択肢のため、順番を繰り下げた方が良い。
杉原会長	女性の健康と権利について新プランに組み込むに当たり、市民意識調査についても項目を設け、指標を得るのが良い。
事務局	新規で設問を記載するよう検討する。
杉原会長	他に意見が無いようなので、上がった意見を踏まえて必要があれば修正する前提で、原案のとおり決定する。